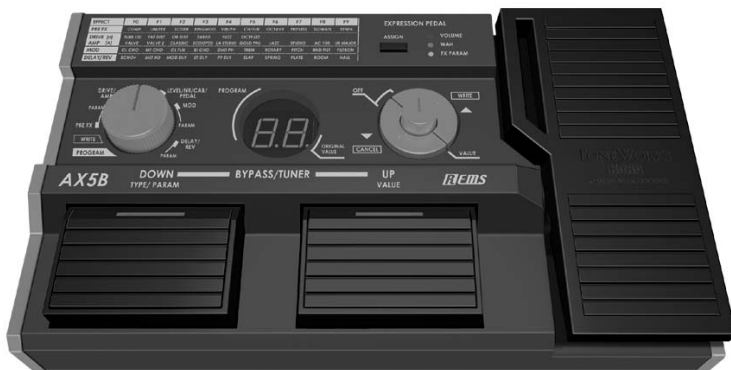


# AX5B MODELING SIGNAL PROCESSOR

Owner's Manual  
Manuel d'utilisation  
Bedienungsanleitung  
取扱説明書



TONEWORKS  
KORG

**REMS**

ⓔ ⓕ ⓖ ⓙ ①



# AX5B MODELING SIGNAL PROCESSOR

## 取扱説明書

## 目次

このたびは、トーンワークス・モデリング・シグナル・プロセッサAX5Bをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。AX5Bはライブからレコーディング、またはヘッドホンでの練習まで幅広い用途でお使いいただけます。  
本製品を未永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

### REMSとは?

REMS( Resonant Structure and Electronic circuit Modeling System )は、生楽器や電気 / 電子楽器の発音メカニズム、発音された音がボディ / キャビネット内で共鳴するメカニズム、その音がでているフィールドの空気感、音の伝達経路としてのマイク、スピーカーなどの電気 / 音響特性、真空管、トランジスタなどの電気回路による音の変化など、音色に関わる様々な要因を緻密にデジタルで再現したコルグ独自のモデリング・テクノロジーです。

安全上のご注意	40
はじめに	41
おもな特長	41
各部の名称と機能	41
フロント・パネル	41
リア・パネル	42
セットアップ	43
乾電池の入れ方	43
基本接続	43
ベース・アンプ接続例	43
ミキサー、レコーダー接続例	43
演奏する(プログラム・モード)	44
プログラムを選ぶ	44
エクスペッション・ペダル	44
音作り(エディット・モード)	44
信号経路	44
エフェクトの選択とメイン・パラメータ - の調整	45
サブ・パラメータ - の選択と調整	45
エクスペッション・ペダルの設定	46
プログラムの保存(ライト・モード)	47
プログラムに保存した値を確認する(オリジナル・バリュー)	47
バイパス、ミュート	47
バイパス状態にする場合	47
ミュート状態にする場合	47
チューナー	47
チューニングの方法	47
チューナーのキャリブレーション調整	48
ペダルの感度の調整	48
工場出荷時の状態に戻す(再ロード)	49
故障とお思いになる前に	49
仕様	50




## 安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

### 火災・感電・人身障害の危険を防止するには








図記号の例










	△ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図が一般的な注意、警告、危険を表しています。
	⊘ 記号は、禁止してはならないことを示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図が分解禁止を表しています。
	● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図が電源プラグをコンセントから抜くことを表しています。

以下の指示を守ってください

### 警告















この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

-  ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。  
ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。
-  本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。
-  次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。  
ACアダプターが破損したとき  
異物が内部に入ったとき  
製品に異常や故障が生じたとき  
修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。
-  本製品を分解したり改造したりしない。
-  修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
-  ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものを乗せない。  
コードが破損し、感電や火災の原因になります。
-  大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。  
万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。

-  本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
-  温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。
-  振動の多い場所で使用や保管はしない。
-  ホコリの多い場所で使用や保管はしない。
-  風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
-  雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
-  本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
-  本製品に液体をこぼさない。
-  濡れた手で本製品を使用しない。

### 注意


この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性、または物理的損害が発生する可能性があります


-  正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
-  ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。  
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
-  外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
-  ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。
-  長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
-  電池は幼児の手の届かないところへ保管する。
-  長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。
-  指定のACアダプター以外は使用しない。
-  他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。  
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
-  スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。  
故障の原因になります。
-  外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシュは使用しない。
-  不安定な場所に置かない。
-  本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
-  本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。  
本製品が損傷したり、お客様がけがをする原因となります。

## 取扱説明書の表記について

本体のスイッチ類の表記は、[ ]で括弧しています。

(p. )：参照ページを表します。

：使用時の注意や補足を表します。

：使用時のヒントなどを表します。

## はじめに

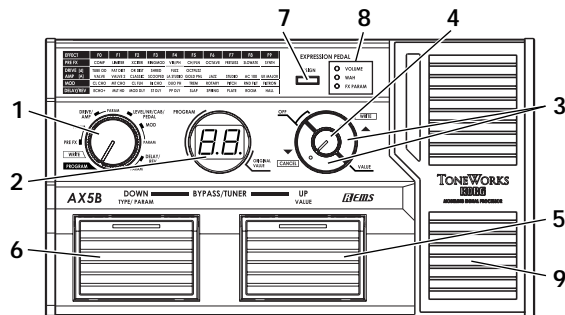
## おもな特長

- コルグのモデリング・テクノロジー **EMS**による緻密で迫力のあるモデリング・サウンドが手軽に使用できます。
- 58種類のモデリング・エフェクト・バリエーションを内蔵し、ノイズ・リダクションを含めて最大6種類のエフェクトとボリューム・ペダルを同時に使用できます。
- 4つのエフェクト・カテゴリー(プリ・エフェクト、ドライブ/アンプ、モジュレーション、ディレイ/リバーブ)のエフェクトすべてのフル・パラメーター・エディットが可能です。
- モデリング・エフェクトを駆使したサウンドを1プログラムとして、40のプログラムを保存することができます。また、プリセットとしてあらかじめ40プログラムが用意されています。(P.54「Preset program chart」参照)
- ワウ・ペダルやボリューム・ペダルをはじめ、さまざまなエフェクトのパラメーターをコントロールできるエクスペッション・ペダルを装備し、ライブ・パフォーマンスなどに威力を発揮します。
- エクスペッション・ペダルへワンタッチでパラメーターを割り当てられるクイック・アサイン機能を搭載しています。
- ディレイのタイプとTIMEパラメーター[P1]が同じ設定のプログラム間では、ディレイの残響を残したままプログラムを切り換えることができます。また、リバーブのタイプが同じ設定のプログラム間ではリバーブの残響を残すことができます。
- オート・クロマチック・チューナーを内蔵し、バイパス、ミュート時にチューニングが可能です。

## 各部の名称と機能

ここではAX5Bのフロント、リア・パネル上のスイッチや端子類について説明します。

## フロント・パネル



## 1. ファンクション・セレクト・ツマミ

ツマミが[PROGRAM]の位置にあるときをプログラム・モード、[WRITE]の位置にあるときをライト・モード、[PRE FX] - [DELAY/REV-PARAM]までの位置にあるときをエディット・モードと呼び、各モードに応じて [ ]/[ ]スイッチや、バリュース・ツマミの動作が変わります。

## 2. プログラム/バリュース・ディスプレイ

エディット・モードでは、エフェクト・タイプ、パラメーター、パラメーターの値(バリュース)を表示します。ライト・モードやプログラム・モードでは、プログラム・ナンバーを表示します。またBYPASS/MUTE時はチューニングの音名を表示します。

### 3. [ ( WRITE ) ], [ ( CANCEL ) ]スイッチ

エディット・モードではエフェクト・タイプ、パラメーターの切り替えをします。また、2つのスイッチを同時に押して、各エフェクトのON/OFFにも使用します。ライト・モードでは、プログラムの書き込みに使用します。

プログラム・モード時にこのスイッチを押すと、プログラム・ナンバーを10ずつ進め(戻し)ます。

また、チューナー起動時はキャリブレーションの設定に使用します。

### 4. バリユー・ツマミ

エディット・モードのとき、パラメーターの値(バリユー)を調整します。

ライト・モードでは、書き込み先のプログラムを設定することもできます。

また、プログラム・モードではマスター・ボリュームとして働きます。

### 5. プログラム・アップ・ペダル

プログラム・モードでは、プログラム選択に使用します。押すたびにプログラム・ナンバーが上がります。エディット・モードでは、プログラム/バリユー・ディスプレイにパラメーターの値(バリユー)を表示させたいときに、このペダルを押します。パラメーターの値(バリユー)がプログラム/バリユー・ディスプレイに表示されているとき、このペダル上のLEDが点灯、もしくは点滅します(表示中のパラメーターがエクスペッション・ペダルの操作対象として設定できる場合に点滅します)。

### 6. プログラム・ダウン・ペダル

プログラム・モードでは、プログラム選択に使用します。押すたびにプログラム・ナンバーが下がります。エディット・モードでは、プログラム/バリユー・ディスプレイにエフェクトやパラメーターのタイプを表示させたいときに、このペダルを押します。エフェクトやパラメーターのタイプがプログラム/バリユー・ディスプレイに表示されているとき、このペダル上のLEDが点灯、もしくは点滅します(表示中のパラメーターがエクスペッション・ペダルの操作対象として設定できる場合に点滅します)。

### 7. ペダル設定スイッチ

エクスペッション・ペダルの操作対象(ボリューム、ワウ、エフェクト・パラメーター)を切り替えます。エディット・モードでは、エフェクト・パラメーターをペダルで操作する設定を行う場合にも使用します。(P.46「エクスペッション・ペダルの設定」参照)

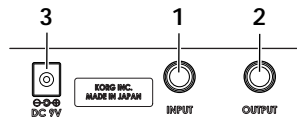
### 8. エクスペッション・ペダル・LED

エクスペッション・ペダルの操作対象と操作対象となっているエフェクトのON/OFFの表示をします(ON:点灯、OFF:点滅)。

### 9. エクスペッション・ペダル

ボリュームやワウ、その他エフェクトのパラメーターを操作します。ペダルを強く踏み込むと、エクスペッション・ペダルの操作対象となっているエフェクトのON/OFF切り替えができます。(P.46「エクスペッション・ペダル」参照)

## リア・パネル



#### 1. インプット端子

ベースを接続します。

#### 2. アウトプット端子

ベース・アンプやヘッドホンに接続します。

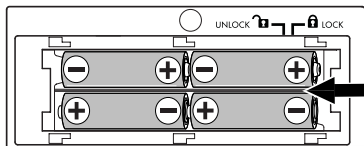
#### 3. 電源

DC9V

オプション(別売)のACアダプター(KA181)を接続します。

## セットアップ

### 乾電池の入れ方



1. バッテリー・ケースを矢印の方向にスライドさせてふたを開けます。別売りの単3アルカリ乾電池を4本を入れて、バッテリー・ケースを閉めます。+と-を間違えないように乾電池の向きに注意してください。
2. 乾電池使用時は、本機のINPUT端子に標準モノラル・プラグを差し込むと電源が入ります。電源が入っている間、ディスプレイにはプログラム・ナンバーなどが点灯表示されます。INPUT端子からプラグを抜くと電源が切れます。

### 基本接続

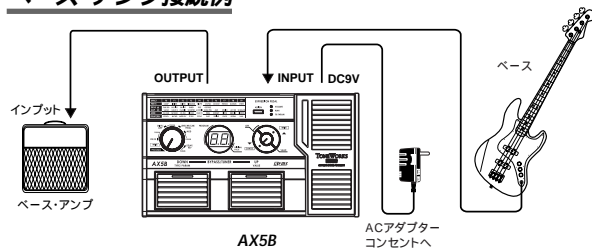
- ⚠ 各接続は必ず電源OFFの状態で行ってください。不注意な操作を行うと、ベース・アンプやスピーカー・システム等を破損したり、誤動作を起こす原因となりますので十分に注意してください。
1. AX5BのOUTPUT端子と、ミキサー/レコーダーやベース・アンプ等をケーブルで接続します。
- ⚠ 接続時、および電源をONにした時にノイズが聞こえないように、アンプやミキサーの音量は十分に下げてください。ヘッドホンを使う場合は、OUTPUT端子にヘッドホンのプラグを接続してください。

2. ベースをリア・パネルのINPUT端子に接続します。

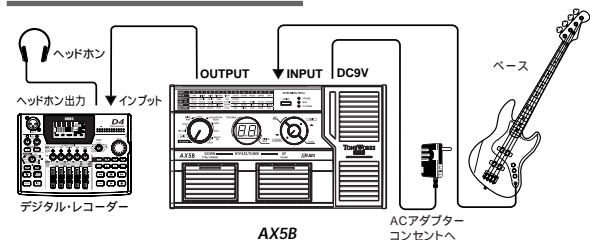
**note** 乾電池使用時は本機の電源が入ります。

3. オプション(別売)のACアダプターを使用する場合は、リア・パネルのDC9V電源端子に接続してから、プラグをコンセントに差し込んで電源を入れます。
4. アンプやミキサーのボリュームを適宜上げて、音量を調整します。

### ベース・アンプ接続例



### ミキサー、レコーダー接続例



## 演奏する(プログラム・モード)

各エフェクトやエクスペッション・ペダルの設定を記憶したものをプログラムと呼びます。

AX5Bには、80のプログラムがあります。このうち01～40までのプログラムは書き替えが可能です。41～80には実用的なプリセット・プログラムを内蔵しています。(P.54「Preset program chart」参照)

プログラムはプログラム・モードのときにプログラム・アップ/ダウン・ペダルを押して選ぶことができ、瞬時に音色を切り換えることができます。ファンクション・セレクト・ツマミを[PROGRAM]の位置に設定すると、プログラム・モードに入ります(プログラム・アップ/ダウン・ペダル上部LEDが点灯)。

### プログラムを選ぶ

#### 1. プログラム・モードであることを確認します。

ファンクション・セレクト・ツマミが[PROGRAM]の位置に設定されていることを確認します。

プログラム・モードでは、プログラム・アップ/ダウン・ペダル両方のLEDが点灯します。

**note** 電源投入時はファンクション・セレクト・ツマミの位置に関わらず、プログラム・モードになります。

#### 2. バリュウ・ツマミをまわしてマスター・ボリュームを調整します。

ベース・アンプに接続する場合は、マスター・ボリュームを50(最大)に設定します。

#### 3. プログラム・アップまたはプログラム・ダウン・ペダルを押してプログラムを選びます。

このとき選択されたプログラムのナンバーが、プログラム/バリュウ・ディスプレイに表示されます。

## エクスペッション・ペダル

プログラム毎にエクスペッション・ペダルの操作対象(ボリューム、ワウ、エフェクト・パラメーター)が設定されています。演奏しながらペダルを上下させると、それに応じてプログラムの音色が変化します。

ペダル設定スイッチを押すとエクスペッション・ペダルの操作対象を切り替えることが可能です。スイッチを押すごとにVOLUME WAH FX PARAM VOLUME...の順で切り替わり、動作している操作対象のLEDが点灯または点滅します。

VOLUME(LED=橙): ボリューム・ペダルとして動作します。

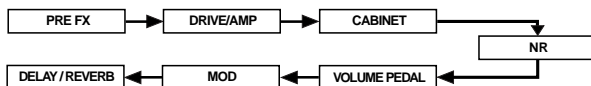
WAH(LED=赤): ワウ・ペダルとして動作します。このとき、[PRE FX]がペダル・ワウに設定されます。

FX PARAM(LED=緑): プログラム毎に設定されたエフェクトのパラメーターを操作するペダルとして動作します。

エクスペッション・ペダルの操作対象がWAH、FX PARAMとなっているプログラムするとき、強くペダルを踏み込むと操作対象に設定されているエフェクトがOFFになり、エクスペッション・ペダル・LEDが点灯から点滅に変わります。もう一度強くペダルを踏み込むと操作対象になっているエフェクトがONになり、エクスペッション・ペダル・LEDが点滅から点灯に変わります。また、エクスペッション・ペダルの操作対象がVOLUMEの場合、選択したプログラムの音量はボリューム・ペダルの位置によって設定されます。WAH、FX PARAMの場合、プログラム切り替え後エクスペッション・ペダルが動かされるまではプログラムの音色は変化しません。

## 音作り(エディット・モード)

### 信号経路





**note** VOLUME PEDALはエクスプレッション・ペダルの操作対象をVOLUMEに設定しているときに使用可能です。

ファンクション・セレクト・ツマミが[PRE FX] ~ [DELAY/REV PARAM]位置に設定されている状態をエディット・モードと呼びます。

[PRE FX]、[DRIVE/AMP]、[LEVEL/NR/CAB/PEDAL]、[MOD]、[DELAY/REV]の各カテゴリのエフェクト・タイプを変更したり、パラメーターの調整をして細かな音作りをすることができます。

## エフェクトの選択とメイン・パラメーター - の調整

[PRE FX]、[DRIVE/AMP]、[MOD]、[DELAY/REV]

[PRE FX]、[DRIVE/AMP]、[MOD]、[DELAY/REV]の各カテゴリで使用するエフェクトを選択するときは、それぞれの位置に設定し、[ ]、[ ]スイッチを押します。

プログラム/バリュウ・ディスプレイには、F0 ~ F9( DRIVE/AMPの場合はd0 ~ d5、A0 ~ A9 )の値が表示され、プログラム・ダウン・ペダル上部のLEDが点灯(または点滅)して、エフェクト・タイプの表示中であることを示します。

**note** パネル上のエフェクト・リストを参照すると、選択中のエフェクト・タイプが判ります。

バリュウ・ツマミをまわすと、選択中のエフェクトで最も効果的なメイン・パラメーターが調整できます。このときプログラム/バリュウ・ディスプレイにはパラメーターの値が表示され、プログラム・アップ・ペダル上部のLEDが点灯(または点滅)して、パラメーターの値が表示中であることを示します。

**note** 選択したエフェクトのON/OFFを行うには、[ ]、[ ]スイッチの両方を同時に押します。ON時にはエフェクトのタイプ、OFF時には“OFF”と表示されます。

### クイック・ガイド

AX5Bでは、エフェクトを選択すると選択したエフェクトのパラメーターを最も効果的な値に自動的に設定します。つまり細かいパラメーターの設定をせずに、PRE FX、DRIVE/AMP、MOD、DELAY/REVのそれぞれのカテゴリからエフェクトを選択するだけで、実用的なサウンドを作り上げることが可能です。

メイン・パラメーターを調整することで、さらに好みの音色に近づけることができます。

## サブ・パラメーター - の選択と調整

[PRE FX-PARAM]、[DRIVE/AMP-PARAM]、[MOD-PARAM]、[DELAY/REV-PARAM]

[PRE FX]、[DRIVE/AMP]、[MOD]、[DELAY/REV]の各カテゴリで選択されているエフェクトのサブ・パラメーターをエディットします。

[ ]/[ ]スイッチを押すと、プログラム/バリュウ・ディスプレイにはP1 ~ P4の値が表示され、プログラム・ダウン・ペダル上部のLEDが点灯(または点滅)して、パラメーター・タイプが表示中であることを示します。

**note** P1 ~ P4に対応する各サブ・パラメーターは、p.51「Parameter List」を参照してください。

ここで各サブ・パラメーター毎にバリュウ・ツマミを調整して音色を調整します。このとき、プログラム/バリュウ・ディスプレイにはパラメーターの値が表示され、プログラム・アップ・ペダル上部のLEDが点灯して、パラメーターの値が表示中であることを示します。

**note** エフェクトがOFFに設定されている場合に、ファンクション・セレクト・ツマミを各カテゴリの[PARAM]に設定するとプログラム/バリュウ・ディスプレイに“OFF”と表示されます。パラメーターをエディットする場合は、[ ]、[ ]スイッチを同時に押してエフェクトをONにしてください。

### クイック・ガイド

エフェクトを選択して作り上げたサウンドを調整する場合、まずメイン・パラメーター - を調整し、次にサブ・パラメーター - のP1を調整します。ほとんどの場合、この二つのパラメーター - の調整で好みの音色が設定可能です。

## [LEVEL/NR/CAB/PEDAL]

プログラム・レベルやノイズ・リダクション、キャビネット・モデリングの調整、選択をする場合は、この位置に設定します。このとき [ ]/[ ]スイッチを押すと、 $LE$  ( Program Level )、 $nr$  ( NR Sens )、 $[b$  ( Cabinet )、 $P_+$ 、 $P_-$  ( Expression Pedal Target Range )と表示され、それぞれバリュー・ツマミで調整します。

$LE$ : プログラム・レベル( 0.0 ~ 1.0 )をバリュー・ツマミで調整します。5.0 が標準の値です。また、エフェクトの設定によってはクリップ(歪)が発生する場合がありますが、そのときはプログラム・レベルを下げて調整します。

$nr$ : ベースを弾いていないときにノイズが気にならなくなる程度にノイズ・リダクションの感度( 0.0 ~ 1.0 )を調整します。

**note** 使用するベースによっては、ノイズ・リダクションの値を上げすぎると音が途切れたり、遅れて聞こえたりすることがあります。演奏しづらくなる程度に調整してください。

$[b$ : キャビネット・モデリングのタイプ( C0 ~ C9 )を選択します。

**!** ドライブ/アンプ・モデルがOFFのときは、キャビネット・モデルのエディットはできません。この場合、LEDには“ \_ \_ ”と表示されます。

**note** ヘッドホン使用時や本機をミキサーやレコーダーに接続するときは、キャビネット・モデリングの使用をお勧めします。また、ベース・アンプに接続する場合は好みによって使用、不使用を使い分けるとよいでしょう。

**note** キャビネット・モデルは、ドライブ/アンプ・モデルに付随するモデリングです。ドライブ/アンプ・モデルがONのときのみ効果があります。また、ドライブ/アンプ・モデルのタイプを変更すると、自動的に最適なモデルが選ばれます。

$P_+$ : エクスプレッション・ペダルを手前まで戻した時のパラメーターの値を設定します。

$P_-$ : エクスプレッション・ペダルを奥まで踏み込んだ時のパラメーターの値を設定します。

## エフェクト/パラメーター・タイプとパラメーターの値の表示

エディット・モードではプログラム・ダウン・ペダルを押すと、プログラム/バリュー・ディスプレイに、エフェクト・タイプやパラメーター・タイプ( F0 ~ F9、d0 ~ d5、A0 ~ A9、P1 ~ P4 )を表示させることができます。また、プログラム・アップ・ペダルを押すと、プログラム/バリュー・ディスプレイに、パラメーターの値を表示させることができます。どちらも現在の設定を確認する場合に便利な機能です。

## エクスプレッション・ペダルの設定

エクスプレッション・ペダルで操作したいエフェクト・パラメーター( F0 ~ F9、d0 ~ d5、A0 ~ A9、P1 ~ P4 )をプログラム/バリュー・ディスプレイに表示します。このとき、プログラム・アップ・ペダル、またはプログラム・ダウン・ペダルのLEDが点滅しているのを確認し、ペダル設定スイッチを1秒程度押し続けます。

**!** プログラム・アップ・ペダル、またはプログラム・ダウン・ペダルが点滅しないパラメーターはエクスプレッション・ペダルでの操作ができません。

プログラム/バリュー・ディスプレイに一瞬“  $P$  ”と表示され、エクスプレッション・ペダルでエフェクト・パラメーターを操作することが可能になります。

**note** エクスプレッション・ペダルの操作対象がFX PARAMのとき、ペダルの操作対象となっているエフェクトを含むカテゴリ内でエフェクト・タイプを変更すると、選択したエフェクトの中で最も効果的なパラメーターにペダルの操作対象を再設定します。( p.51「Parameter List」参照)

**note** エクスプレッション・ペダルの操作対象をFX PARAMに設定すると、操作対象となっているエフェクトが自動的にONになります。OFFから自動的にONになった状態でペダル操作、またはエディットをしないでペダル設定スイッチを一回押し、VOLUMEに設定するとエフェクトが再度OFFに戻りますが、ペダル操作、またはエディットを行なった場合は、ペダル設定スイッチをもう一度押しして操作対象をVOLUMEにすると、エフェクトはONのままになります。

**note** エクスプレッション・ペダルの操作対象がWAHのとき、ファンクション・セレクト・ツマミを[PRE FX] (ディスプレイに“  $LU$  ”と表示)、[PRE FX-


PARAM]にあわせると、WAHのパラメーターをエディットできます。また、エクスプレッション・ペダルの操作対象がWAHのとき、[PRE FX]のエフェクト・タイプを変更するとエクスプレッション・ペダルの操作対象はVOLUMEに切り替わります。

## プログラムの保存(ライト・モード)

気に入ったサウンドに仕上がったら保存(ライト)します。

**note** 保存しないで他のプログラム・モードでプログラムを切り替えたり、電源を切ると、音作りをしていた内容は消えてしまいます。

1. ファンクション・セレクト・ツマミを[WRITE]にあわせませす。
2. [ (WRITE) ]スイッチを押します。このときプログラム・ナンバーが点滅します。
3. バリ्यू・ツマミ、またはプログラム・アップ/ダウン・ペダルで保存先のプログラムを選びます。
4. [ (WRITE) ]スイッチをもう一度押します。プログラムが保存され、プログラム/バリ्यू・ディスプレイに一瞬「P」が表示されます。

 プログラムは上書き保存され、元のプログラムは消去されます。

**note** 新しいプログラムを保存しない場合は、[CANCEL]スイッチを押して操作をキャンセルしてください。

## プログラムに保存した値を確認する(オリジナル・バリ्यू)

エディット・モードでは、プログラムに保存されているパラメーターの値はプログラム/バリ्यू・ディスプレイのオリジナル・バリ्यूLEDで確認できます。

ツマミやスイッチでパラメーターの値を変更しているとき、その値がプログラムに保存されている値(オリジナル・バリ्यू)と一致すると、オリジナル・バリ्यूLEDが点灯します。



**note** プログラム・モードではオリジナル・バリ्यूLEDは点灯しません。

## バイパス、ミュート

バイパス(ノイズリダクションを含め、すべてのエフェクトをOFFにする)やミュートは、ベース・アンプの設定をしたり、ライブ中でのチューニング、またベースを取り替える場合などに便利な機能です。

### バイパス状態にする場合

プログラム・アップとプログラム・ダウンのペダルを同時に押すと、すべてのエフェクトがバイパスされます。このとき、プログラム/バリ्यू・ディスプレイに“ -- ”と表示され、バリ्यू・ツマミはマスター・ボリュームとして働きます。

### ミュート状態にする場合

プログラム・アップとプログラム・ダウンのペダルを同時に1秒程度押し続けると、出力がミュートされます。このとき、プログラム/バリ्यू・ディスプレイに“ \_ \_ ”と表示されます。

どちらの場合もオート・クロマチック・チューナーが起動します。バイパス、ミュートを解除するには、プログラム・アップもしくはプログラム・ダウンのペダルを押します(プログラムは変更されません)。

## チューナー

本機は、オート・クロマチック・チューナーを内蔵しています。このチューナーは、基準ピッチAの周波数をA438Hz ~ A445Hzの範囲で調整(キャリブレーション)できます。

### チューニングの方法

1. バイパス、ミュート状態にするとオート・クロマチック・チューナーが起動します。

**note** ライブ中など音を出さずにチューニングしたい場合は、ミュート状態にするとういでしょう。

2. 接続したベースの弦を弾くと、一番近い音名がプログラム/バリュース・ディスプレイに表示されます。  
音名は次のように表示されます。

音名	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
ディスプレイ表示	C	C <sup>♯</sup>	D	D <sup>♯</sup>	E	F	F <sup>♯</sup>	G	G <sup>♯</sup>	A	A <sup>♯</sup>	B

3. チューニングが高くずれているときは、プログラム・アップ・ペダルのLEDが点滅します。逆にチューニングが低くずれているときは、プログラム・ダウン・ペダルのLEDが点滅します。どちらの場合も点滅が早い程大きくずれていることをあらわします。  
チューニングが合うと、プログラム・アップ/ダウン両方のLEDが点灯します。

### チューナーのキャリブレーション調整

本機の電源を入れると、内蔵チューナーは基準ピッチAの周波数が440Hz (コンサート・ピッチ)になります。この基準ピッチを438Hz~445Hzの範囲で変更すること(キャリブレーション)ができます。

チューナー起動中に[ ]、[ ]スイッチを押して、438Hz~445Hzの範囲でこの基準ピッチを変更することができます。このときプログラム/バリュース・ディスプレイには38~45と表示されます。

**note** 変更したキャリブレーションは電源をOFFにする时无効となり、再び電源をONにすると自動的に440Hzになります。

### ペダルの感度の調整

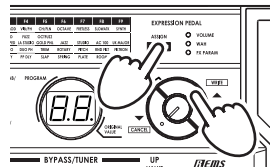
AX5Bのエクスペッション・ペダルの P<sub>-</sub>/P<sub>+</sub> の設定がそれぞれ最小/最大であるにも関わらず、踏み込んだときにエフェクト効果や音量が最大にならない場合や、戻したときにエフェクト効果や音量が最小にならない場合、ま

たはエクスペッション・ペダルの設定がWAHやFX PARAMに設定されているときにペダルを奥に踏み込んでエフェクトのON/OFF切り替えが上手くいかない場合は、次のように本機を操作してエクスペッション・ペダルが最適に動作するように感度を調整してください。

**note** 感度を調整するときはエクスペッション・ペダルを必ず足で操作してください。手で行なうとペダルの感度が正確に調整できないことがあります。

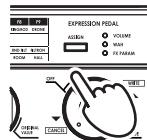
1. 電源をOFFにします。

2. ペダル設定スイッチと[ (WRITE) ]スイッチを押しながら、電源を入れます。プログラム/バリュース・ディスプレイに "Pd" と表示されるまで両方のスイッチを押し続けます。



3. スイッチから手を離し、エクスペッション・ペダルを手前に戻します。

ペダル設定スイッチから手を離す



手前に戻す



4. エクスペッション・ペダルをエフェクトのON/OFFをする要領で強く踏み込みます。



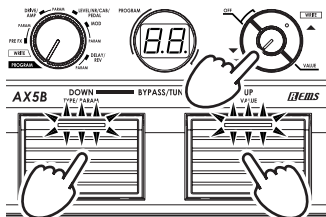
5. エクスプレッション・ペダルを動かさないようにして足を離します。
6. 足を離すとペダルが自然に戻ります。ペダルが自然に戻った状態で[ (WRITE) ]スイッチを押すと、“ [ P ] ”と表示され、感度が調整されます。“ [ P ] ”と表示された後は自動的にプログラム・モードに切り替わります。
- note** 調整を中止するときは[ (CANCEL) ]スイッチを押します。

## 工場出荷時の状態に戻す(再ロード)

本機のプログラムや、すべての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

**note** この操作を完了すると自分で作ったプログラムなど本機に保存してあったすべてのプログラムは消去され、出荷時のプログラムが読み込まれます。

1. プログラム・アップ/ダウンの両方のペダルと[ (CANCEL) ]スイッチを押しながら電源を入れます。プログラム/バリュースタイルに“ rL ”と表示されるまでペダルとスイッチを押し続けます。



2. 押ししていたペダルとスイッチから手を離します。
3. [ (WRITE) ] スwitchを押すと、プログラム/バリュースタイルに“ Ld ”と表示され、再ロードが始まります。再ロードが完了するとプログラム/バリュースタイルに“ [ P ] ”と表示され、自動的にプログラム・モードに切り替わります。
- note** [ (WRITE) ] スwitchを押した後は、再ロード作業の中止はできません。
- note** 再ロード中は、絶対に電源をOFFにしないでください。
- note** 再ロードの作業を中止するときは、プログラム/バリュースタイルに“ rL ”と表示されているときに、[ (CANCEL) ] スwitchを押します。

## 故障とお思いになる前に

故障かな?と思ったら、まず以下のことを確認してください。症状が改善されない場合は、コルグ・サービス・センターまでお問い合わせください。

1. 電源が入らない
- 乾電池が消耗していませんか?電池容量が少なくなると、ディスプレイに“ Lo ”が点滅で表示されます。なるべく早く電池交換することをお勧めします。なお、使えなくなった乾電池はすぐ取り出してください。そのままにしておくと、故障の原因(乾電池の液漏れなど)となります。また、長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
  - INPUT 端子に標準ステレオ・プラグのケーブルを接続していませんか?乾電池使用時は、標準ステレオ・プラグのケーブルを接続すると電源が入りません。必ず、標準モノラル・プラグのケーブルを接続してください。
  - リア・パネルのDC9V 端子にACアダプターが接続されていますか?
  - コンセントにACアダプターが接続されていますか?
  - ACアダプターが損傷していませんか?

## 2. 音が出ない

- ベースのボリュームを絞っていませんか？
- ベース・シールドが正しく接続されていますか？
- ベース・シールドが断線していませんか？
- DRIVE/AMPやPROGRAM LEVEL( LEVEL/NR/CAB/PEDAL )のパラメーターが小さい値になっていませんか？
- その他のエフェクトで音量を絞っていませんか？
- エクスプレッション・ペダルの操作対象が、VOLUMEに設定された状態でボリュームを絞っていませんか？
- ミュート操作を行いませんでしたか？  
p.47「バイパス、ミュート」を参照してミュートを解除してください。
- マスター・ボリュームが小さい値になっていませんか？ファンクション・セレクト・ツマミを[PROGRAM]に設定して、バリュー・ツマミをまわし、マスター・ボリュームを調整してください。

## 3. エフェクトがかからない

- 各エフェクトがバイパスになっていませんか？
- モジュレーションの「DEPTH」、ディレイ、リバブの「MIX」がそれぞれ小さい値になっていませんか？
- バイパスしていませんか？  
p.47「バイパス、ミュート」を参照してバイパスを解除してください。

## 4. SYNTHの使用中に音が歪む

- DRIVE/AMPの[VOLUME]、またはPROGRAM LEVEL(LEVEL/NR/CAB/PEDAL)の[LEVEL]が上がりすぎていませんか？

## 5. ベース・アンプに接続した音が歪む、不自然な音がる

- DRIVE/AMPの[VOLUME]、またはPROGRAM LEVEL( LEVEL/NR/CAB/PEDAL )の[LEVEL]が上がりすぎていませんか？

## 仕様

エフェクト数:	プリ・エフェクト・タイプ: 11 (プリ・エフェクト10 + ペダル・ワウ1) ドライブ/アンプ・モデル・タイプ: 16 キャビネット・モデル・タイプ: 10 モジュレーション・エフェクト・タイプ: 10 ディレイ・エフェクト・タイプ: 5 リバブ・エフェクト・タイプ: 5 ノイズ・リダクション: 1
プログラム数:	80 (ユーザー 40 / プリセット 40)
オーディオ入力:	INPUT (モノラル標準)
オーディオ出力:	OUTPUT (ステレオ標準)
信号処理:	A/D変換: 24 bit D/A変換: 24 bit サンプリング周波数: 31.25 kHz
チューナー:	測定範囲: A0 ~ E6 キャリブレーション: A=438 ~ 445 Hz
電源:	アルカリ単3乾電池×4本(連続8時間以上使用可能)またはDC9V(別売り)ACアダプター
外形寸法(W×D×H):	249(W)mm × 143(D)mm × 44(H)mm
重量:	650g
付属品:	取扱説明書
オプション(別売):	DC9V ACアダプター ㊦㊧㊨ KA181

\* 仕様および外観は改良のため予告無く変更される場合があります。

## Parameter List

- \* This is the parameter that will be automatically assigned for control by the pedal if you change the effect type within a category that includes the effect currently assigned for pedal control.
- \* Il s'agit du paramètre automatiquement assigné à la pédale si vous changez le type d'effet à l'intérieur d'une catégorie incluant l'effet actuellement assigné à la pédale.
- \* Dies ist der Parameter, der automatisch zur Steuerung durch das Pedal zugewiesen wird, wenn du den Effekttyp innerhalb einer Kategorie umstellst, die den aktuell zur Pedalsteuerung zugewiesenen Effekt enthält.
- \* ペダルの操作対象としているエフェクトを含むカテゴリ内でエフェクト・タイプを変更した際に、自動的にペダルの操作対象に設定されるパラメーター

- Parameters that can be controlled by the pedal
- Paramètres pouvant être contrôlés par la pédale.
- Parameter, die durch das Pedal gesteuert werden können.
- ペダルで操作することのできるパラメーター

PRE FX		Main Parameter		P1		P2		P3		P4	
F0	COMPRESSOR	SENS *	1...10	LEVEL	0...10	-	-	-	-	-	-
F1	LIMITER	RATIO *	0...10	THRESHOLD	1...10	LEVEL	0...10	ATTACK	0...10	-	-
F2	EXCITER	FREQ *	1...10	EFFECT	0...10	TYPE	1,2	-	-	-	-
F3	RING MODULATOR	OSCFREQ *	0...10	EFFECT	0...10	DIRECT	0...10	FILTER	1...10	-	-
F4	U-VIBE/PHASER	SPEED *	1...10	DEPTH	0...10	ORDER	Pr/Po	TYPE	U1,U2,or,bL	MANUAL	1...10
F5	CHORUS/FLANGER	SPEED *	1...10	DEPTH	0...10	RESO	0...10	MANUAL	1...10	-	-
F6	OCTAVE	EFFECT *	0...10	DIRECT	0...10	-	-	-	-	-	-
F7	FRETLESS	DEPTH *	0...10	-	-	-	-	-	-	-	-
F8	SLOW ATTACK	ATTACK *	0...10	-	-	-	-	-	-	-	-
F9	SYNTH	DPTH/POL	-10...-0, 0...10	RESO *	0...10	ATTACK	0...10	WAVE	0...10	MIX	0...10

- ⚠ The OCTAVE and FRETLESS effects are designed for single-note playing, and may produce uncontrollable or muddy sound if you attempt to play chords.
- ⚠ Les effets OCTAVE et FRETLESS sont conçus pour accompagner une note simple et risquent de produire un son impossible à contrôler ou terne si vous essayez de jouer un accord.
- ⚠ Die Effekte OCTAVE und FRETLESS sind zum Spiel mit Einzelnoten ausgelegt und können unkontrollierbaren oder trüben Klang verursachen, wenn du versuchst, Akkorde zu spielen.
- ⚠ OCTAVE、FRETLESSは単音向けのエフェクトです。コードを弾くと取捨がつかなくなったり、音がにごったりします。

WAH		Main Parameter		P1		P2		P3		P4	
uu	WAH	MANUAL *	1...10	RESO	0...10	OPEN	1...10	TRIM	1...10	ORDER	Pr/Po

DRIVE/AMP		Main Parameter		P1		P2		P3		P4		Cabinet	
d0	TUBE OVERDRIVE	GAIN*	1...10	TONE	0...10	DIRECT	0...10	VOLUME	0...10	-	-	C9	LA 1x8
d1	FAT DISTORTION	GAIN*	1...10	TONE	0...10	DIRECT	0...10	VOLUME	0...10	-	-	C4	UK 4x12
d2	ORANGE DISTORTION	GAIN*	1...10	TONE	0...10	DIRECT	0...10	VOLUME	0...10	-	-	C8	UK 4x15
d3	SHRED DISTORTION	GAIN*	1...10	TREBLE	0...10	MIDDLE	0...10	BASS	0...10	VOLUME	0...10	C3	MTL 4x10
d4	FUZZ	GAIN*	1...10	TONE	0...10	DIRECT	0...10	VOLUME	0...10	-	-	C1	MDN 4x10
d5	OCTAVE FUZZ	GAIN*	1...10	TONE	0...10	DIRECT	0...10	VOLUME	0...10	-	-	C2	LA 4x10
A0	VALVE	BASS	-10...0...10	TREBLE	-10...0...10	MID FREQ	1,2,3,4,5	MIDDLE	-10...0...10	VOLUME*	0...10	C0	CLS 8x10
A1	VALVE 2	BASS	-10...0...10	TREBLE	-10...0...10	MID FREQ	1,2,3,4,5	MIDDLE	-10...0...10	VOLUME*	0...10	C0	CLS 8x10
A2	CLASSIC	BASS	-10...0...10	TREBLE	-10...0...10	MID FREQ	1,2,3,4,5	MIDDLE	-10...0...10	VOLUME*	0...10	C4	UK 4x12
A3	SCOOPED	BASS	-10...0...10	TREBLE	-10...0...10	MID FREQ	1,2,3,4,5	MIDDLE	-10...0...10	VOLUME*	0...10	C3	MTL 4x10
A4	LA STUDIO	BASS	-10...0...10	TREBLE	-10...0...10	MID FREQ	1,2,3,4,5	MIDDLE	-10...0...10	VOLUME*	0...10	C2	LA 4x10
A5	GOLD PANEL	BASS	-10...0...10	TREBLE	-10...0...10	MID FREQ	1,2,3,4,5	MIDDLE	-10...0...10	VOLUME*	0...10	C1	MDN 4x10
A6	JAZZ	BASS	-10...0...10	TREBLE	-10...0...10	MID FREQ	1,2,3,4,5	MIDDLE	-10...0...10	VOLUME*	0...10	C6	JAZZ 1x15
A7	STUDIO	GAIN*	0...10	TREBLE	-10...0...10	MIDDLE	-10...0...10	BASS	-10...0...10	VOLUME	0...10	C5	STUD 1x15
A8	AC 100	GAIN*	0...10	TREBLE	0...10	MIDDLE	0...10	BASS	0...10	VOLUME	0...10	C7	AC 2x15
A9	UK MAJOR	GAIN*	0...10	TREBLE	0...10	MIDDLE	0...10	BASS	0...10	VOLUME	0...10	C8	UK 4x15

LEVEL/NR/CAB		LE		nR		Cb	
		PROGRAM LEVEL	0...10	NR SENS	0...10	CABINET MODEL	C0...C9

MOD		Main Parameter		P1		P2		P3		P4	
F0	CLASSIC CHORUS	SPEED *	1...10	DEPTH	0...10	MANUAL	1...10	MODE	1,2,3	-	-
F1	MULTI TAP CHORUS	SPEED *	1...10	DEPTH	0...10	TIME	0...10	MIX	0...10	-	-
F2	CLASSIC FLANGER	SPEED *	1...10	RESO	0...10	DEPTH	0...10	MANUAL	1...10	MIX	0...10
F3	BI CHORUS	SPEED1 *	1...10	SPEED2	1...10	DEPTH	0...10	RESO	0...10	MODE	1,2,3,4
F4	DUO PHASER	SPEED1 *	1...10	SPEED2	1...10	DEPTH	0...10	RESO	0...10	MODE	1,2,3,4,5
F5	TEXTREM	SPEED *	1...10	DEPTH	0...10	SPREAD	0...10	LEVEL	1...10	-	-
F6	ROTARY	SPEED *	1...10	DEPTH	0...10	-	-	-	-	-	-
F7	PITCH SHIFTER	PITCH *	-12...12	EFFECT	0...10	DIRECT	0...10	FINE	-15...15	TRACKING	1...10
F8	RANDOM STEP FILTER	SPEED *	1...10	MIX	0...10	RESO	0...10	MANUAL	1...10	DEPTH	0...10
F9	FILTRON	SENS/POL	0...10,-0...-10	ATTACK	1...10	RESO	0...10	MANUAL *	1...10	DEPTH	0...10



- Note** If you set the DEPTH to 10 for CLASSIC CHORUS, CLASSIC FLANGER, or FILTRON, adjusting the MANUAL value won't produce any change.
- Note** Si vous réglez DEPTH sur 10 pour CLASSIC CHORUS, CLASSIC FLANGER ou FILTRON, le réglage de la valeur MANUAL ne produira aucun changement.
- Ann.** Wenn Du DEPTH auf 10 für CLASSIC CHORUS, CLASSIC FLANGER oder FILTRON gestellt hast, wird durch Einstellen des Werts von MANUAL keine Änderung bewirkt.
- Note** CLASSIC CHORUS、CLASSIC FLANGER、FILTRONのDEPTHを10にした場合、MANUALの値を変えても変化しません。
- Note** If you're using F9-FILTRON and want to assign P3-MANUAL as the pedal control target, set P4-DEPTH to a value of 0 (or near 0).
- Note** Si vous utilisez F9-FILTRON et souhaitez que P3-MANUAL soit contrôlé par la pédale d'expression, réglez P4-DEPTH sur la valeur 0 (ou une valeur proche de 0).
- Ann.** Wenn du F9-FILTRON verwendest und P3-MANUAL als Pedal-Steuerungsgegenstand zuweisen willst, stelle P4-DEPTH auf einen Wert von 0 (oder nahe 0).
- Note** F9-FILTRONのP3-MANUALをペダル操作対象とした場合は、P4-DEPTHの値は0、もしくはそれに近い値に設定してください。

<i>DELAY/REVERB</i>		<b>Main Parameter</b>		<b>P1</b>		<b>P2</b>		<b>P3</b>	
F0	ECHO+	MIX *	0...10	TIME	0...10	FEEDBACK	0...10	TONE	1...10
F1	MULTI HEAD ECHO	MIX *	0...10	TIME	0...10	FEEDBACK	0...10	TONE	1...10
F2	MODULATION DELAY	MIX *	0...10	TIME	0...10	FEEDBACK	0...10	SPEED	1...10
F3	STEREO DELAY	MIX *	0...10	TIME	0...10	FEEDBACK	0...10	TONE	1...10
F4	PINGPONG DELAY	MIX *	0...10	TIME	0...10	FEEDBACK	0...10	TONE	1...10
F5	SLAP	MIX *	0...10	TIME	1...10	HI DAMP	0...10	LO DAMP	0...10
F6	SPRING	MIX *	0...10	TIME	1...10	HI DAMP	0...10	LO DAMP	0...10
F7	PLATE	MIX *	0...10	TIME	1...10	HI DAMP	0...10	LO DAMP	0...10
F8	ROOM	MIX *	0...10	TIME	1...10	HI DAMP	0...10	LO DAMP	0...10
F9	HALL	MIX *	0...10	TIME	1...10	HI DAMP	0...10	LO DAMP	0...10

## Preset program chart

No.	Program name			Pedal	For	No.	Program name			Pedal	For		
41	STU+CHO			VOLUME	AMP	61	SLAP			VOLUME	AMP		
42	STUDROCK			VOLUME	AMP	62	GREENDAZ			MOD	MT CHO	MIX	AMP
43	STUSOCT			VOLUME	AMP	63	DUO PHAS			MOD	DUO PH	SPEED1	AMP
44	SOLOSTU	DELAY/REV	ECHO+	MIX	AMP	64	SYNTH			PRE FX	SYNTH	RESO	AMP
45	COUNTRY			VOLUME	LINE	65	JAZZ2			DELAY/REV	ROOM	MIX	AMP
46	JAZZ			VOLUME	LINE	66	PICKER			VOLUME			AMP
47	ROCK			VOLUME	LINE	67	FRAGILE			DELAY/REV	HALL	MIX	AMP
48	70'ZSYNT	PRE FX	SYNTH	RESO	LINE	68	CELLOBOW			VOLUME			AMP
49	MOTOWN			VOLUME	LINE	69	WATER			MOD	RND FILT	SPEED	AMP
50	ROCK2			VOLUME	LINE	70	SLAP+CHO			VOLUME			AMP
51	POWER	MOD	MT CHO	MIX	LINE	71	TUBE OD			DELAY/REV	TUBE OD	GAIN	AMP
52	ROTARY	MOD	ROTARY	SPEED	LINE	72	FRETLESS			DELAY/REV	HALL	MIX	AMP
53	FINGER			VOLUME	LINE	73	DOORS			VOLUME			AMP
54	FINGER2			VOLUME	LINE	74	SIR PAUL			VOLUME			AMP
55	FINGER3			VOLUME	LINE	75	CLOEDY			VOLUME			AMP
56	FINGER4			VOLUME	LINE	76	UK DRV	DELAY/AMP	UK MAJOR	GAIN		AMP	
57	STUDFUNK			VOLUME	LINE	77	STUCFUNK			VOLUME			LINE
58	CHORUS	DELAY/REV	HALL	MIX	LINE	78	STUCROCK			VOLUME			LINE
59	GEEZR	DRIVE/AMP	OCTAFUZZ	GAIN	LINE	79	STUCHORD			DELAY/REV	HALL	MIX	LINE
60	STUC.WAH			WAH	LINE	80	STUSLY			DELAY/AMP	OR DIST	TONE	LINE

DELAY/REV .... DELAY/REVERB  
 RESO ..... RESONANCE  
 MOD ..... MODULATION  
 MT CHO ..... MULTI TAP CHORUS  
 DUO PH ..... DUO PHASE  
 RND FILT ..... RANDOM STEP FILTER  
 TUBE OD ..... TUBE OVERDRIVE  
 OR DIST ..... ORANGE DISTORTION

## 保証規定(必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類(ヘッドホンなど)は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はご購入日より1ケ年です。
2. 次の修理等は保証期間内であっても有料修理となります。
  - ・消耗部品(電池、スピーカー、真空管、フェーダーなど)の交換。
  - ・お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
  - ・天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
  - ・故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
  - ・不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
  - ・保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
  - ・本保証書の提示がない場合。

尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。

3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、サービス・センターまでお問い合わせください。
5. 修理、運送費用が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめサービス・センターへご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
6. 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損傷につきましては、弊社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。

本保証書は、保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

1. 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
2. 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

### コルグ AX5B 保証書

本保証書は、上記の保証規定により無料修理をお約束するものです。

ご購入日 年 月 日

販売店名

## アフターサービス

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

お客様相談窓口

TEL 03(3799)9086

サービス・センター:

〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1

明正大井5号営業所 コルグ物流センター内

TEL 03(3799)9085

**KORG** KORG INC.

4015-2 Yanokuchi, Inagi-city, Tokyo 206-0812 Japan